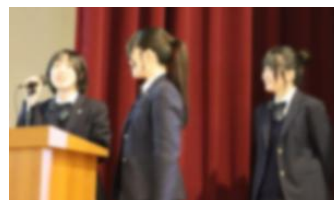


● 公孫樹プログラム「代表者研究発表会」



2月20日（金）、本校体育館で1・2学年合同「代表者研究発表会」が行われました。

発表会前半は、ステージでスライドによる口頭発表が行われ、2つの班が課題研究の成果を報告しました。また後半には、体育館全体を使用してポスター発表が行われ、1・2学年各クラスから選出された計28班が課題研究の成果を披露しました。先輩と後輩が入り交じるなか、生徒たちは互いに活発な質疑応答を行い、社会にある様々な課題についての考えを深めました。

今年度は、学外から探究の専門家や大学の先生、PTA 会長など沢山の方々に御来校いただき、指導・助言を頂戴することができました。専門的な知見から自身の探究活動を振り返る機会に恵まれ、実り多き発表会となったと思います。さらに、福島県立原町高等学校の先生方や、東北大学大学院教育学研究科修士過程に在籍中の現職教員の方も発表を見に来てくださり、大変意義深い行事となりました。

● 1・2年「ディスカッションの基礎」



1月22日（木）1、2年生のLHRで「ディスカッションの基礎」が行われました。

これは、ディスカッションの過程を通して、資料から読み取ったことを活用しながら意見を述べたり、様々な視点から考えを深めたりする活動です。

今年度は、「普段、私たちが当たり前に認識しているものを分からない人に伝えるには」というテーマで話し合った後に、資料を読んで改めて意見を出し合い、共生についての考えを深めました。当日は図書委員が司会進行を担い、各クラスで活発に議論がなされました。

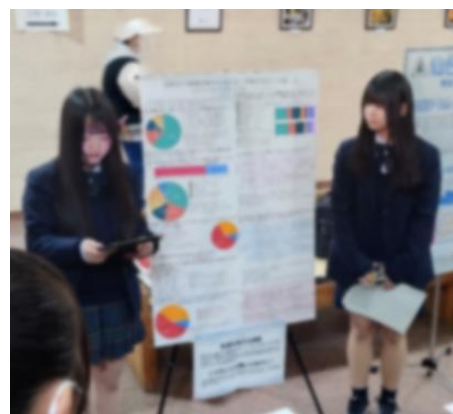
話し合いでは、クラスごとに具体的なものを設定して「分からない人に伝えるにはどうすればよいか」を考えました。あるクラスでは、「青」という色を見たことがない人に伝えるには」という設定で議論を深めていました。

●「みやぎ高校生フォーラム」に参加

1月24日（土）宮城県教育委員会主催の「みやぎ高校生フォーラム」に生徒会長のI.Mさん（2年）と生徒会執行部のI.Hさん（1年）の2名が参加し、ポスター発表を行いました。

今年度は、戦後80年の節目に当たることから「平和な社会の実現に向けて、私たちができること」がテーマでした。日々の学習や経験等を通じて平和について考えたことを発表し、互いに共有することで、自らが社会で果たすべき役割を考える機会とすることを趣旨としています。県内各校の代表生徒たちによるポスターセッションやパネルディスカッションが行われ、平和な社会の実現に向け活発な意見交換がなされました。

Iさんらは、事前に実施した本校生552名を対象とするアンケート結果をもとに、「高校生の意識調査から考える、平和な社会への第一歩」と題したポスターを作成し、戦争に関する意識調査の結果を発表し、高校生ができる具体的な取り組みを提案しました。



写真：県庁での発表の様子

●第3弾「あの人の『仕事！』論。」

2月18日（水）の放課後に、本校の卒業生（45回生）で、仙台南警察署巡査を務めていらっしゃる方を講師としてお招きし、第3弾「あの人の『仕事！』論。」を実施しました。この日は6名の生徒が参加し、講師の先輩より、警察官の業務や、やりがい、難しさなど、様々なお話を聴かせていただきました。

先輩は本校在校時には、ラグビー部のマネージャーをしていたそうです。高校卒業後、宮城県警として仙台南警察署に配属されました。現在、漫画『ハコヅメ』でもお馴染みの交番に勤務し、日々の業務に奮闘しています。



●「全国育樹祭」より木製ベンチ寄贈



少し前のことですが、本校中庭に新しく木製のベンチが設置されました。このベンチは、昨年10月に行われた「みやぎ2025 第48回全国育樹祭」で実際に展示されたものです。「全国育樹祭」とは、継続して森を守り育てることの大切さを国民に伝えるために、「全国植樹祭」を開催したことのある都道府県で行われている国民的な緑の祭典です。当日は秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席のもと「お手入れ」や「式典行事」などが行われたそうです。この祭典の理念を県民に伝えることを目的として、ベンチを公共施設等で活用することとなり、本校にその一台がやってきました。

木製のベンチですが、屋外でも長く大切に使えるよう、本校の主任技師がニス塗りを丁寧に施しました。

春らしく暖かい日には、昼休みに中庭で昼食をとる生徒も見られるようになってきます。木製のベンチに腰を下ろす機会があったら、ぜひその手触りと、「全国育樹祭」の刻印を確認してみてください。